

1. ビオトープ活動～ 福工大構内の里山・ビオトープは平成18年3月に学生、教職員が協力して造り、自然状態を保ちながら活用して、もうじき7年になります。本年度も、年4回の自然観察会を企画・実施しました。

1回目は、4月29日(日)第24回春の自然観察会を開催しました。地域住民12人、学生45人、合計57人が参加・交流活動しました。

2回目は、7月7日(土)第25回夏の自然観察会を開催しました。参加者が地域住民9人、学生46人、合計55人が参加・交流活動しました。

3回目は、10月13日(土)第26回秋の自然観察会を開催しました。参加者が地域住民1人、学生43人、合計44人が参加・交流活動しました。

4回目は、12月8日(土)第27回冬の自然観察会を開催しました。参加者は地域住民7人、学生48人、合計55人が参加・交流活動しました。なお、高大連携の一環で県立嘉穂総合高校の学生4人と引率教員1人も参加しました。

7年間の通算27回で延べ727人の地域住民と学生達が里山・ビオトープ活動を通じて交流してきました。今後も福工大周辺の小さな自然環境を大切にしながら地域の自然の再生・創生を進めていきます。地域の皆様も学生達と交流・連携し、大いなる自然の恵みを楽しみながら環境学習を進めていきましょう。

2. 福工大前商店会活性化プロジェクト～ 学部ゼミ活動の一環として、平成21年10月から福工大前商店会の活性化プロジェクトに取り組んでいます。

12月8日(土)に初めて第1回～第27回までのポスター展示会を開催しました。50人の参加者でアンケート調査も実施しました。商店のポスター制作によるプロジェクトは約3年間の活動として、終了・総括することができました。

次なる福工大前商店会活性化の取組みは、「緑のカーテンづくり」です。6月から「緑のカーテンで省エネや景観などで環境配慮の街づくり」をテーマに企画し、7月8日(日)に設置を開始し、10月20日(土)に植え替えを行いました。まだ、小さな取り組みですが、夏は涼を感じさせ、癒しの空間になっています。今後も、学生、教職員一同、地域の皆様と共に連携して地域の活性化のために頑張っていきますので、どうぞ、宜しくお願いいたします。

